

官報

號外

明治三十四年二月十日

日曜日

印刷局

第十五回 帝國議會 衆議院議事速記録第七號

明治三十四年二月九日(土曜日)午後一時十分開議

議事日程 第六號 明治三十四年二月九日

午後一時開議

一 明治三十九年法律第四號中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

三 明治三十三年勅令第二百七十七號(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

五 明治三十二年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

七 明治三十二年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

九 明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

十一 潮風被害地租特別處分法案(永井嘉六郎外二名提出) 第一讀會

十二 潮風被害地租特別處分法案(井上彦左衛門提出) 第一讀會

十三 蟲害地租特別處分法案(駿島相政外七名提出) 第一讀會

十四 蟲害地租特別處分法案(野尻岩次郎外三名提出) 第一讀會

十五 蟲害地租特別處分法案(山口熊野外五名提出) 第一讀會

十六 早害田地租特別處分法案(上藤行幹外一名提出) 第一讀會

十七 未成年者飲酒禁止法案(根本正外五名提出) 第一讀會

十八 印紙稅法中改正法律案(星松三郎外一名提出) 第一讀會

十九 (特別報告第一號)四國鐵道第一期線へ繰上ケノ請願外三件 (委員長報告)

二十 (特別報告第二號)鐵道敷設法中追加ノ請願外六件 (委員長報告)

二十一 (特別報告第三號)商業會議所條例改正ノ請願 (委員長報告)

二十二 (特別報告第四號)下總國舊牧開墾ニ關スル請願 (委員長報告)

二十三 (特別報告第五號)地價修正不當ニ付再修正ノ請願 (委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

大石正己君ノ提出ニ係ル議會ニ對スル內閣ノ態度及外交ニ關スル質問ニ對シ伊藤內閣總理大臣加藤外務大臣ヨリ左ノ答辯アリ
衆議院議員大石正己君ヨリ議會ニ對スル內閣ノ態度及外交ニ關スル質問書ニ對スル答辯差進候也

明治三十四年二月八日

衆議院議長片岡健吉殿

衆議院議員大石正己君提出之議會ニ對スル內閣ノ態度及外交ニ關スル質問書ニ對スル別紙答辯書差進候也

明治三十四年二月八日

衆議院議長片岡健吉殿

衆議院議員大石正己君提出ニ對スル內閣ノ態度及外交ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

一 質問第一及第二ニ關シテハ政府ニ於テ國家ノ利益ノ爲必要ナリト認ムルトキハ適當ノ時機ニ國務大臣ヨリ便宜議院ニ於テ北清事變ノ經過ヲ陳述スルコトアルヘシ

一 質問第三、第五及第六ニ關シテハ列國ハ皆清國ノ保全ヲ旨トシ且又露國ハ其牛莊ヲ占領シ露兵ヲ滿州ニ派スルニ至リタルハ暴民擧退ノ必要上已ムヲ得サル一時ノ措置ニシテ秩序回復シ東清鐵道保護ノ方法定マル以上他國ノ行動ニ因テ妨ケテ政府ハ此公然タル露國ノ言明ト清國ヲ保全セシムル列國ノ主旨トニ信賴セリ

一 質問第四ニ關シテハ牛莊方面不穩ノ當時軍艦ヲ派遣シ緩急ニ備ヘシメタルヲ及答辯候也

貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

移民保護法中改正法律案

佐々友房君ヨリ政府ノ責任ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

山口熊野君西原清東君鈴木萬次郎君脇坂行三君齋藤壽雄君ヨリ齒科醫養成ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

政府ノ責任ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年二月九日

提出者 佐々友房

贊成者 原田 赴城

外三十五人

政府ノ責任ニ關スル質問主意書

國家必要ノ經費ヲ豫算シ閣議決定ノ上

上裁ヲ經テ而ル後帝國議會ノ協賛ヲ求ムルハ憲法ノ成規ニシテ其議會ニ提出スルニ方テ國務大臣及政府委員タルモノハ其理由ヲ說明シ原案ヲ維持

内議ヲサレタト云フコトハ、新聞紙上ニ於テ承ツテ居ル、是ハ政友會諸氏ノ黨議トシテ而シテ會議ヲ開カル、コトハ、黨議トシテハ又尤ノコト、思ヒマ

ニ於テ、是ダケヲ進退ヲ以デ爭ハナカッタノハ、職責ヲ盡サナイト云フヤウナ御攻撃ハ、私ハ受ケナイ積デアリマス
○議長（片岡健吉君） 是ヨリ議事日程ノ第一明治二十九年法律第四號中改正法律案、政府提出、貴族院ノ送付、第一讀會——議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、金子司法大臣

一 明治二十九年法律第四號中改正法律案(政府提 第一讀會
出貴族院送付)
明治二十九年法律第四號中「今後五箇年間」ヲ「明治二十九年三月三十一日迄」ニ改ム

(司法大臣男爵金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○司法大臣(男爵金子堅太郎君) 諸君、唯今本院ニ提出ニナリマシタル案ハ、貴族院ニ於テ議決ノ上送付ニナリタリ。其趣意ハ明治二十九年ニ司法官試験ノ實地修習期限ヲ、構成法ノ明文ノ如クニ三箇年ト致シマシテハ、目下ノ形勢ニ於テ司法官ノ缺員ヲ充スニ足ラナイガタメニ、三箇年ヲ一箇年ト縮メマシタル法律デゴザイマス、然ルニ今月ニ至ッテ其期限ガ切レマシテ、既ニ其效力ノイカヌト云フコトニナリテ居ル、然ルニ目下尙ホ前ニ此案ヲ提出致シタル所ノ狀勢ガ繼續シマシテ、司法官試験ノ修習期限ヲ明文通三箇年デハ缺員補充ニ差支ヘマスカラ、今暫ク明治二十九年ノ三月三十一日マデ、此法ヲ繼續サセタイト云フ政府ノ意思デゴザイマス、故ニモウ此趣意ハ十分前ノ御決議ノトキニ御分リデゴザイマス希望致シマス

○望月長夫君(百五十四番) 本案ニ附イテ政府委員ニ質問ヲ致シタイ、裁判所構成法ハ明治二十三年ニ發布シテ、明治二十三年ニ試験ノ修習期限三箇年ヲ要スルコト云フコトガ書イテアル、其當時施行條例ト云フモノヲ出シテ、裁判所構成法實施ノ日ヨリ三年ノ間ハ、試験ノ修習期限ヲ一年半ニ減縮スルコト云フ特別法ヲ出シテ居ル、然ルニ此狀勢ヲ繼續シテ今日ニ至レバ指ヲ屈シテ十年ノ間ニ試験ノ修習期限ヲ一年半ニ減縮スルコト云フモノヲ出シテ居ル、更ニ此點ニ向ッテ今年間ハ之ヲ一年半ニ減縮スルコト云フ法案デアル、ソコデ私ガ政府委員ニ御尋ナスルコト云フノハ、斯ノ如クニシテ既ニ十年ヲ經過シテモ尙ホ構成法ノ要求ヲ充タスコトガ出來ナク、構成法ノ如クニシテ司法官ニナルコト云フモノガ足リナイト云フノハ、唯此三年ト云フ時間ガ長過ギルト云フコトハ政府デハ考ヘヌノデアアルカ、辭ヲ換ヘテ云ヘバ、構成法其モノガ惡リイカラ、斯ウ云フ結果ヲ來スト云フ考ヘナイノデアアルカ、即チ大審院ニハ、古クテモ、新シクテモ、善クテモ、惡ルクテモ、七ツノ頭ヲ摘ヘナケレバナラヌ、控訴院ニハ五ツノ頭ヲ摘ヘナケレバナラヌ、地方裁判所ニハ三ツノ頭ヲ摘ヘナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フコトヲ是非共何時マデモ摘ヘナケレバナラヌト云フタメニ、即チ構成法ニ含マレテ居ルコトガ不備ナルタメニ、不備アルガタメニ、宜カラザル規程アルガタメニ、此適當ナル判事檢事ヲ適當トスルコトヲ得ナイト云フ結果デアルト云フコトハ御考ヘナイノデアアルカ、縮メテ云ヘバ、政府ハ修習期間ヲ一年半ニ縮メテ居レバ満足デアルト云フコトデ、此構成法ヲ更ヘナケレバナラヌト云フ考ヘナイノデアアルカ、此點ニ附イテ政府ノ御考ヲ承ッテ置キタイ

(政府委員司法總務長官波多野敬直君演壇ニ登ル)
○政府委員(波多野敬直君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマス、今日マデノ制度ニ附イテ、試験ノ修習期限ヲ三年トシテハ苦ミマスノデアアリマス、又構成法ノ改正ニ附イテハ政府ハ今日考モアリマセヌガ、追テ是ハ何分ノ修正ヲ要スルコトハ考ヘマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガナケレバ議事日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○恒松隆慶君(百二十六番) 是ハ九名ノ委員デ議長ノ指名ヲ願ヒマス
○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス
○恒松隆慶君(百二十六番) 次ノ日程デゴザイマスガ、第二ヨリ第十マデハ矢張同一ノ問題ノヤウニ見エマスカラ、一括シテ議題ニ掲ゲタイ、ツレカラ委員モ同一ノ委員ニ付託シタイと思ヒマス
○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ第三ヨリ第十マデヲ一括シテ議題ニ供スルコトハ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

第三 明治三十三年勅令第二百七十七號(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

勅令第二百七十七號
清國事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ軍艦水雷艇補充基金災害準備基金及教育基金ノ特別會計ニ屬スル資金ヲ使用スルコトヲ得
前項ニ依リ使用シタル資金ハ後日補填スヘシ

四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
(政府提出)

五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

○大藏大臣(子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)
(大藏大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)
○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今議事ニ上リマシタル北清事件ニ附イテ、憲法第七十條ニ依ッテ、三基金ヲ臨時軍事費ニ充テマシタル財政上處分ノ追認ニ附キマシテハ、過日豫算ト増稅案ヲ紹介致シマシタルトキニ、質疑モアリ答辯スル所モアリマシタル、此事ハ今更別ニ喋々スル必要モナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ此北清事件ニ附イテハ、内閣總理大臣ノ臨時ノ病氣ヤラ其他デ、未ダ諸君ニ向ッテ願末ヲ御話ヲスルコトヲ得ナカッタノデアアリマスガ、此議案ガ議題トナリマシタルヲ機會トシテ、外務大臣ヨリ演說スルコトガアルコトトナッテ居リマス、本大臣ハ別ニ喋々致シマセヌ、何卒十分ニ審査ヲ遂ゲラレテ承諾セラレンコトヲ希望致シマス

○外務大臣(加藤高明君) 議長
○議長(片岡健吉君) 外務大臣加藤高明君

受クルニ依リ、實際ノ談判ヲシテ大ニ簡單ナラシムベシ、即チ支那ニ向テ
各國ガ持出ス所ノ要求ハ、悉ク北京ノ外國公使會議ニ掛ケテ、斯ク云フ案
ヲ出シテ、ノデアリマス、此提議ニ對シテ全然同意ヲ表シテ、モ二ツバカリ
リマス、其他ハ格別不同意アリマセヌガ、明瞭ナル答辯ナリカッタ國モ
ル、實際其中ノ經過ハ矢張帝國カラ提議シテ手續、即チ清國ニ對シテ要求ス
ル簡條ハ、北京ノ外交官ノ會議ニ掛ケテ、十月十九日ニ成行イテ居リマス、
マデガ、前ノ内閣ニ於テシテ、コトデアリマス、十月十九日ニ唯今ノ内閣ハ成立
チマシタカラ、以後ニ御話申スコトハ、此内閣ノ成立後ノコト、御承知下
サレタイ、清國ニ對スル事柄ヲ議スル在北京列國公使ノ會議第一回ハ十月八
日ニ始リマシタ、爾來度々會合ガアリマシテ、段々ト各國カラシテ支那ニ持
出ス所ノ要求モ纏テ參リマシタ、其進行中ニ於キマシテ、帝國政府ハ各國
ノ注意ヲ惹ク必要ヲ認メタ簡條ガアリマシテ、十一月十四日一ノ發議ヲ帝國
政府ハ各國ニ向テ致シマシタ、其一簡條ハ元兇所罰ニ關スルコトデアル、又
其二ハ兵器彈藥ノ製造ニ必要ナル材料ノ、清國ニ輸入セラル、コトヲ禁止セ
レトスル簡條ニ關シタ、北京ノ公使會議ノ結果ハ、或數名ノ人ヲ人名
ヲ指シテ、其人達ヲ死刑ニ處セント云フコトヲ、清國政府ニ向テ要求スル
ト云フコトニナリテ居リタ、而モ其支那政府ニ要求スル仕方ハ、
最後通牒ト云フ形ヲ以テスル、即チアルチメ一ト云フ形ヲ以テスル、
此要求ノ通牒カ肯カヌカト云フ意味デスルト云フ成行ニナリテ居リマシタ、
所デ我政府ニ於テ考ヘマシタノハ、此暴動ノ關係シ、此暴動ヲ煽動シ、此暴
動ニ加擔シテ外國人ニ對シテ大ナル損害ヲ與ヘ、大ニ外國人ヲ苦シメタル所
ノ支那ノ大官達ニ對シテハ、固ヨリ嚴重ナル處分ヲ請求スルコトハ當然ノコ
トデアリタ、其點ニ關シテ別段異議ハアリマセヌケレドモ、數名ノ人ヲ名前
ヲ掲ゲ、此人達ヲ是非死刑ニ處セント云フコトヲ、支那ニ請求スルコト云フコ
トハ、ドウ云フモンデアラウカ、或ハ其人達ノ中ニハ、間違テ外國人ニハエ
ト認メ、支那ノ政府デモ其點ニ異議ノナイ人達デモ、其身分ニ依テ皇族モア
レバ、尙ホ數萬ノ兵ヲ率テ居ル將官モアルノデ、其人達ヲ是非死刑ニ處スベ
シト云フコトヲ請求シテ見タ所ガ、其結果ハドウデアラウ、支那政府ハ實際
ニ於テ之ヲ實行スルコトハ出來ヌデアラウ、出來ナカッタキニ各國ハ既ニ
最後通牒ト云フテ掛合ヲシテ居レバ、最早退却譯ニハイカヌ、支那ノ方デモ
各國ノ要求ヲ履行スルコトガ出來ナイト爲ッタキニハ、談判ハ中止ト爲ッテ
シマフ、ツレガ支那ノタメニハ免ニ角、各國ノタメニ謀テ面白タナイコト
デアラウカラ、必シモ刑ヲ寬メルト云フコトハ出來ナイケレドモ、場合ニ
依ッテハ幾ラカ實地ニ於テ融通ノ出來ルト云フヤウニ、此要求ハ緩メテ出シ
タ方ガ宜イデアハナイカト云フコトガ、帝國政府ノ思附イタコトデアリマス、
第二此兵器彈藥ノ製造材料云々ノコトハ、是ハ兵器ノ輸入ハ禁止シテ又兵器
彈藥ヲ製造スルニ必要ナル材料ヲ輸入セシメナイト云フコトガ、ツレマ
デ北京ニ於ケル各國公使ノ會議デ略極々簡條デアリマシタガ、兵器彈藥ノ
コトハ姑ク別問題ト致シテ、此製造ニ必要ナル材料ト申スモノハ何デアル、
或ハ硫酸デアルトカ、硫黃デアルトカ、鐵デアルトカ、鋼デアルトカ云フノデ
アルダラウト思フ、所ガ其品物ハ必シモ兵器彈藥ノ製造ノミニ用ヒラレ
ノデナイ、他ノ目的ノ即チ平和ノ目的ニモ用ヒラレモノデアル、然ルニ之ヲ
禁止シテシマフコトハ、支那ニ取ッテモ頗ル迷惑デアラウシ、又支那
ノ迷國ハドウデモ宜イトシタ所ガ、支那ト貿易ニ從事シテ居ル我國其他ノ國

ニ取ッテモ、日本ヨリモ其點ニ於テハ關係ノ深イ國モアルヤデアルガ、貿
易上ニ大ナル損害ヲ受ケルモノハガアリハセヌカ、例ヘバ日本ノミデア
酸ノ輸入、硫酸ト云フモノハ綿火藥ヲ製造スルコトニモ使ハル、サウデア
マスガ、又其他ノ品物ヲ製造スルニモ使ハル、之ヲ一切止メテシマフコト
コトハ、極其比較的小サイカ知ラヌガ、日本ノ硫酸製造業ナルモノハ忽チ困
ルト云フヤウナコトモ起ルカラ、是ハ止メテハドウデアリマセウカト云フコ
トヲ、帝國政府ガ思附イテ此二簡條ニ付イテ各國ニ注意ヲ促シタ所ガ、各國
於テモ此點ニ附イテハ頗ル同感ヲ表シタル國ガアリマシテ、其結果各國間ノ
交渉ト爲リ、結局北京ニ於ケル公使會議ニ於テハ、此元兇處罰ノ點ニ關シテハ、
元兇ノ人名ヲ掲ゲナイ、又死刑ト云フ字モ載セナイ、即チ此元兇者ヲ最モ嚴重
ナル罰ニ處スベシト云フコトニシヤウ、斯ク云フコトニ決議ニナリマシタ、此
兵器彈藥製造材料云々ノコトニ附イテハ、專ラ兵器彈藥ノミヲ製造スルニ必
要ナル材料ノミヲ輸入ヲ禁止スルコトニナリマシタ、私ハ或品物ガ專ラ兵器
彈藥ノ製造ニノミニ供セラレテ、他ノ用ニハ供セヌト云フコトガアルカ否ヤ
甚ダ疑ハシイト思ヒマスガ、サウ云フモノハ禁シナイト云フコトニ決
議ニナリマシタ、故ニ此二點ニ附イテハ、諸ル所帝國政府ノ申立ノ趣旨ガ貫徹
シタト云フ譯ニナリマシタ、デアリマス、ツレカラ列國代表者ハ段々申上
タヤウニ、度々ノ會議ヲ經テ諸ル要求ハ十二箇條ト議決シマシタ、各本國政
府ノ訓令ヲ受ケテ其要求書ヲ掲ゲタル所ノ書面ヲ拵ヘテ、是ハ各國連名デ出
スモノデアリマス、連名公書ト世間ニ稱ヘラレテ居ルモノデアリマス、此書面
ヲ昨年ノ十二月二十四日ヲ以テ、清國全權委員慶親王ニ手渡ヲ致シマシタ所
ガ、支那政府ハ事ヲ處スルニ餘リ機敏デハナイト云フ評判ノ豫テアルモノ
アルニモ拘ラズ、此度ハ頗ル敏捷ナル働ヲシタト見エマシテ、十二月三十日即
チ各國ノ要求ヲ受取テヨリ六日目、六日カ七日目ニ其同意ノ旨ヲ返答シマ
シタ、清國ノ全權委員カラ、所デ各國ノ全權委員ハ、同意デアラナラバ是ノ
式ヲ備ヘタル書面ヲ更ニ御前ノ方カラ送レ、ツレニハ清國ノ皇帝ヲシテ各國
ノ要求スル十二箇條ヲ承諾シテ、之ヲ履行スルコト云フコトノ上諭ヲ先ツ發セ
シメテ、其上諭ノ寫ヲ寫シテ、之ヲ履行スルコト云フコトヲ要求致シマシタ、其要
求ニ從ッテ清國ノ全權委員ハ今年ノ一月十六日ニ、注文通ノ書面ヲ各國公使
ニ銘々ニ各通ヲ送ッテ參リマシタ、此ニ於テ其各國カラ要求シタ十二箇條
ハ、如何ナルモノデアルカト云フコトヲ、大略ノ趣旨ヲ御話申シマセウ、第
一ハ二項ニ分レテ居リマシテ、一項ハ獨逸公使ノ虐殺ニ附イテ惋惜ノ意ヲ表
スルタメ、皇族ノ一人ヲ主トスル特派使節ヲ柏林ニ派遣スルコト、其第二項
ガ紀念碑ヲ同公使虐殺ノ地點ニ建設スルコト、大略ノ趣旨ヲ申ストサウ云フ
コトデアル、第二ガ是モ二項ニ分レテ居リマス、元兇ニハ其各自ノ罪惡ニ該
當スル最嚴刑、最モ嚴シキ刑ヲ科スルコト、此二項ガ外國人ノ虐殺又ハ虐待
セラレタル各市府デ、五箇年間一切ノ科擧ヲ停止スルコト、科擧ト云フハ試
驗ノコト、文官ニナル試驗ヲスル、之ヲ一切止メテシマフ、第三杉山書記生
虐殺ニ對シテ日本政府ニ名譽アル罪贖ヲ爲スベキコト、第四汚瀆又ハ破壞セ
ラレタル外國人ノ墓地ニハ清國政府ニ於テ贖罪ノ紀念碑ヲ建設スルコト、第
五兵器及彈藥ノ製造ニ所用セラル、材料ノ輸入ハ禁止ヲ持續スルコト、第六
モ二項ニ分レテ居ル、其一項ガ國家團體及個人竝ニ外國人ニ雇使セラレテ居
ル故ヲ以テ事變中身體又ハ財產ニ損害ヲ被リタル清國人ニ對シテ相當ナル賠償
ヲ爲スコト、第二項ガ債金仕拂及國債使用ノ外國債ノコトデアリマセウ、國
債ノ使用ヲセシメタメ此列國ニ於テ認容セラルベキ財政上ノ處置ヲ採ルベキコ

ト、第七ガ列國公使館ハ各自常設護衛ヲ置キ且ツ公使館所在區域内ニ清國人ノ居住ヲ許サズルコト、第八大沽砲臺並ニ北京ト海濱間ノ自由交通ヲ阻害シ得ベキ諸砲臺ヲ破壊スルコト、第九首府ト海濱間ノ自由交通ヲ維持センガため某ヤノ場所ハ極ツテ居ラス、某ヤノ地點ヲ軍事上ノ要點ヲ幾ラカ標シテ、外國ノ軍隊ニ於テ首府北京ト即チ大沽ト間ノ要點ヲ幾ラカ標シテ、ソコニ外國兵ヲ駐屯セシムルコト云フコトアリマス、第十是モ二項ニ分レテ居リマス、排外團體ヘノ加入ヲ禁止スルコト、元兇ニ當テテ刑罰ノ名並ニ科擧停止ノコトヲ記入セル勅詔ヲ、二箇年間國內ノ各縣内ニ揭示スルコト、二項ガ地方官僚ハ其管轄内ニ於ケル秩序保護ノ責任アルコト等ヲ宣言セル上諭ヲ發シ全國ニ布告スルコト、第十一通商及航海條約ノ修正ヲ後日締結スベキコトヲ約スルコト、第十二外交事務衙門ヲ改革シ且外國代表者謁見ニ關スル宮中ノ禮式ヲ變更スベキコトヲ約スルコト、是ガ十二箇條ノ要求デアリマス、詳細ニ涉リテ御説明ヲ致シマスルコト餘リ長クナリマス、大要御分リニナッテラウト思ヒマス、各箇條ノ說明ハ致シマス、所デ是ヲ御覽ニナル通、此十二箇條ニ掲ゲラレテ居ル所ノ事柄ハ、重ニ各國ニ共通シタ事柄デアリマス、唯各國ニ共通シナイ事柄ハ獨逸公使ノ殺サレタメニ、謝罪ノ使節ヲ伯林ニ送ルコト云フコト、我杉山書記生ノ殺サレタメニ、我國ニ對シテ名譽アル償ヒヲスルコト云フコト、二箇條デアリマス、他ハドノ國ニ係ルコト云フモノデアリマセ、此要求ノ事項ニ附イテハ諸君ガ批評眼ヲ以テ御覽ニナッテラ、ソレナコトハ要求セヌデモ宜カウト思召ス箇條ガアルカモ知レヌ、或ハ此他ニモ色々要求セヌデモ宜カウト思召ス箇條ガアルカモ知レヌ、又此十二箇條ノ請求ノ仕方モ、モット外ノ方法ヲ請求シタラ宜カウト思ハレル點モアルカモ知レヌ、其ニ於テハ拙者モ御同意ノ點モアルカモ知レヌ、元ト我政府ノ方針ハ成ルベク支那今日ノ事局ヲ速ニ纏メルコト云フコトヲ目的トシテ居ルデアリマス、此北京ノ公使館ナルモノモ諸君ガ御覽ニナッテラバ、頗ル進歩ノ遅イモノデアルト云フ御感覺ガアルデアラウ、ソレハ之ニ關係シテ居ルモノハ十一箇國デアリマス、其十一箇國悉ク同意ヲセヌケレバ往カヌト云フ話デアアルカラ、各意見ヲ異ニスル場合モアリ、ナカク急ニ抄ラヌデアアル、從テ此要求ヲ提出スルニ當テモ、各國箇々ノコトヲ言出シタナレバ、其議論ハ何年ニ亘ラテ片附クコトヤラ更ニ見込ガ附カヌ場合デアラウト思ヒマス、我政府ハ此度ノ要求ハ成ルベク各國共通ノ事ニ限ッテ、種々ノ事柄ハ餘リ言ハヌ方ガ宜カラウ、吾レガ言ヘバ他モ言フコト云フコトデ、殆ド際限ガナイ、此列國會議ガ何年ノ間續クヤラ見込ガ付カヌヤウニナルノヲ恐レマスガ故ニ、成ルベク請求ハ狹イ範圍ニ止メヤウ、且ツ各國共通シタコトニ止メヤウ、斯ウ云フノガ趣意デアリマス、我日本ノ新聞紙等ニ於キマシテモ、其他ノ團體ニ於テモ、或ハ個人ニ於テモ、此談判ニ際シテ我が帝國ハ斯ノ如キ事ヲ要求スベシトノ注文モ、随分私ノ手許ニハ建白モアリマシタシ、其他ノ方法ヲ知レテモ居リマス、唯杉山書記生ノコトハ是ハ日本ガ要求シテ、此箇條ノ中ニ加テラデアルマス、何故ニ之ヲ請求シタカト云フニ、杉山書記生ハ外交官ノ班ニ列シテ居ルモノデアリマス、外交官ニ對シテハ其彼等ノ駐紮シテ居ル國ニ於テ、十分ノ保護ヲ與フベキモノデアルト云フコトハ萬國公法ノ原則デア、此公使館員ヲ暴民デモナク而モ官民ノ手デ殺スト云フコトハ、實ニ甚シ曲事デアアルデアリマス、杉山書記生ノ殺サレタメニ、殊ニ此我日本ニ損害ヲ與ヘタノミナラズ、此外外交官ノ特典ト云フモノヲ害シタモノデアアルカラ、杉山書記生虐殺ノタメニ我日本ヘ名譽アル償ヲスルコトハ、實ニ日本ニ

對シテノミナラズ、各國ニ對シテ同シクセンケレバナラヌコトデアアル、即チ獨逸公使ヲ殺シタコト、官ニ上下ガアルガ、同ジキコトデアルト云フコトデ、此杉山書記生ノタメニ相當ナ償ヲ求メルト云フコトハ、我日本ノ提議ニ於テ此中ニ加ヘタノデアアル、此名譽アル償ト云フコトハ、何レドウシテ實行スルカト言ヘバ、何レ清國政府ヨリ相當ナ人ヲ我國ニ派遣シテ、謝罪使トシテ派遣シテ我 陛下ニ向ッテ謝罪致スルコトニテラウト思ヒマス、前ニ申上テラ此要求ノ條件ニ附イテハ、支那ニ於テモ既ニ承諾ノ回答ヲ致シタカラ、此條件ヲ履行スル所ノ方法ニ附イテ、唯今北京ニ於ケル外國公使達ハ、或ハ各自ノ間ニ協議ヲ致シ、或ハ清國ノ全權ト會合シテ折角其事ヲ議シツ、アル最中デアリマス、デ今日マデ彼ノ結果ヲ見マスレバ、列國ノ協同ハ能ク保タレテ、往々隨分ヤカマシイ議論ガアリマシタモ、結局ニ至ッテハ能ク纏ッテ居リマス、ソレデ此後モ多分——多分ト申スヨリハ必ト申シマセウ、必ズ同シ方針デ各國ノ協同ハ保タレテ、此事件ノ落著ヲ見ルコトニ至リマセウト信ジテ居リマス、然ルニ前ニモ申上テマシタ通、是ニ關係シテ居ル所ノ國ハ十一箇國デアアル、其意見ガ必シモ何時モ初カラ同一デアルト云フコトハ往カナイノデ、折節其意見ガ違フコトガアル、其意見ヲ纏メルニ誠ニ時ガ掛ル、此北京ニ於ケル列國ノ公使ノ會議ハ、諸君ガ此議場ニ持ッテ居ラフコトガナイカラ、十一箇國ノ中ノ如何ナルモノト雖モ、一國ガ不承知ヲ言ッテ居レバ其事ガ纏ラヌ、十一箇國ノ中ノ如何ナルモノト雖モ、一國ガ不承知ヲ言ッケヌト云フタメニ、甚ダ隙取ルノデアアルカラ、十一箇國悉ク一致センケレバ行カナケレバナラヌト思ヒマス、即チ今日ノ內閣ガ更ニ極メタ方針デナクシテ、前ノ內閣モ其方針ヲ以テ始終進デ來タノデ、此點ニ附イテハ今日ノ內閣モ全ク前ノ內閣ト同一デ、各國協同一致ノ方針ヲ固ク守ッテ居ルデアリマス、此十一箇國ガ悉ク協議シテヤルト云フ結果ハ、時ガ掛ルノミナラズ、前モ申ス通一箇國デモ不同意ガアッテハイカヌ、殘ラズ同意センケレバイカヌト云フノデアアルカラ、其同意ヲ得ルニハ勢時トシテ互ニ讓合ッテ折レ合ッテ、誰ノ意見ノ通デモナイ變ナモノガ出來タト云フコトガ往々アルノデ、是モ各國協同ノ一ノ缺點デアリマス、此缺點モ尙ホ忍バナラヌノデ、是デ今日先ヅ此清國事件ノ經過ノ大略ハ申述ベク終ッテ積リデアリマス、此事ニ關係シテ尙ホ一ニ申述ベク置カント云フコトガアリマス、ソレハ所謂其英獨協商即チ英國ノ獨逸ノ間ニ結バレタ所ノ、支那ノコトニ關シテ條約、此トニ關シテ御話ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、又モウ一箇條ハ滿州ノ問題、此事ニ附テモ一言ヲ費シタイト思フ、先ヅ英獨協商ガ關係兩國政府ノ手ヨリ公ケニ發表セラレタノハ、昨年ノ十月二十日ノコトデアリマス、我政府ヘ通知ノ達シマシタノハ、ソレヨリ一日バカリ置イテアッタ、多分十月二十二日ノ頃デアッタト記憶シテ居リマス、此協商ハ既ニ諸君モ御承知ノ如ク四箇條カラ成立ッテ居リマス、其第一箇條ハ清國ノ河川、川德斯ナ、河川及沿岸ノ諸港ヲ經濟的活動ニ對シテ自由ニ開放スベキコトヲ約シタモノデアアル、貿易ノ自由ヲ維持スルコト云フコトデアアル、ソレデ二條ガ清國版圖ノ保全ヲ約シタモノデアリマス、三條ニハ——是ガ頗ルヤカマシイ箇條デアアル、萬一何レノ國ニ於テモ清國ニ於テ領土上ノ利益ヲ獲得セントアルベキ所置ニ關シテ、兩條協約國ハ其利益ヲ保護スルガため、追テ取ルコトアルベキ所置ニ關シテ、豫メ協議ヲ爲スベキコトヲ保留ス、ソレカラ第四條ハ此協商ヲ關係列國、日本其他關係列國ニ通知シテ其加入ヲ求メヤウト云フコトデアアル、デ要シマス

ラス、又ソレガ是カラ濟ムヤ否ヤト云フコトモ能クハ分ッテ居ラナイ、ソレガ確カナ報道ト云フテ諸君ニ御報道スル譯ニハ參リマセヌガ、政府ニ達スル所ノ種々ナル報告ヲ綜合シテ推察スレバ、ウシナコトデモアラウカト思ハレル、要スルニ諸君ノ満足セラレルヤウナ御報道ヲ拙者ハ此場合ニ於テ致スコトガ出來マセヌ、其事ニ就イテ——大體ノ清國事件ニ立戻リマシテ、前ニモ御話申シタ如ク各國ノ協同一致ハ今日マデ能ク保タレテ居リマスルカラ、此後モ必ズ一致ハ保タレテ、早晚此事局ニ満足ナル落著ヲ見ルデアラウト思ハレマシ、但シ何時頃此事ガ濟ムカト云フコトヲ私ニ聞クモノガアリマス、ソレハ遺憾ナガラ何時頃濟ムト云フ、日ヲ限リ時ヲ限ツ答ヘルコトハ出來ナイ、併シ此場合ニ於テ諸君ニ向ッテ申シテ置キマスルノハ、我政府ハ此事局ヲ纏メルコトニ就テハ頗ル熱心デアッテ一日モ速ニ落著ヲ告ゲサセタイト云フ希望ヲ懷キ、又其希望ヲ達スルタメニ、我政府ノ及ブ限ノ力ヲ盡シテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ、此演說ヲ終リマス

○工藤行幹君(六十六番) 議長

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君、今ノ大臣ノ演說ニ就イテノ質問デスカ

○工藤行幹君(六十六番) チョット外務大臣ノ御説明ヲ煩シタヒト思ヒマス、唯今御演說ノ露清條約ト云フコトハ、未ダ確ナコトガ分ラナイト云フコトデアリマシタガ、其コトハ能ク分リマシタ、此事ニ就イテ果シテアツタカナイカト云フコトヲ、我政府カラ或ハ露國ナリ支那ナリ、若クハ其他ノ政府ニ照會シタコトデモアリマスカ否ヤト云フコトヲ、私ハ承リタイノデアル、アルカナイカト云フコトハ、餘程ケンノンナコトデアリマスルカラ、之ヲ御照會ニナツタコトガアルカ否ヤト云フコトヲ承リタイ、若シ御照會ニナツタラ、ツレニ對スル返答ガ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ承リタイ

(外務大臣加藤高明君演壇ニ登ル)

○外務大臣(加藤高明君) 唯今ノ御尋ハ能ク聽取レマセヌデシタ、ドウ云フコトデスカ、モウ一應……

○工藤行幹君(六十六番) 此露國ト清國トノ密約ガ、マダ確デナイト云フコトヲ御話ニナリマシタ……

○外務大臣(加藤高明君) 密約ト云フモノガアルト云フコトハ申シマセヌ、密約ト云フコトヲ世間デ評シテ居ルト云フコトヲ申シマシタ

○工藤行幹君(六十六番) 能ク分リマシタ、ソコデ之ガ果シテアツタカナイカト云フコトヲ、我政府カラ露國ナリ清國ナリニ御打合せニナツタコトガ、アルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデゴザイマス、若シ御打合せニナツタナラバ、其返事ガドウ云フヤウナコトニナツテ居ルカト云フコトヲ承リタイ

○外務大臣(加藤高明君) ツレハ頗ル大切ナ、外交上必要ナ大切ナコト、思ヒマスカラ、取調ベタ上御返事ヲ致シマスカラ、相當ノ手續ヲ以テ御質問ニナリタイ

○大石正己君(百五十七番) 私ガ外務大臣ニチョット——早速外交上ノ質問ニ對シテ御報告ヲ得マシテ、甚ダ満足ノ至デゴザイマス、チョット私ハ遅刻ヲ致シマシテ、始ノ書面デ御答辯ニナツタコトハ存ジマセヌガ、今委シキ外交上ノ手續ヲ承リマシテ、甚ダ新シイコトモ承ルシ、誠ニ能ク手續ガ分リマシタ、私ハチョット一點バカリ御説明ヲ願ヒタイ點ガアリマスルガ、其連名公書ナルモノヲ御造リニナツタ際ニ、滿州ノ方面ニ關スルコトガ更ニ見エテ居ラヌ、是ハ露西亞ニ於テモ既ニ大數ノ軍隊ヲ滿州方面ニハ出サレテ、餘程費用モ掛ッテ居ルデアラウ、又鐵道ノヤウナモノヲ餘程破壊サレタト云フ話デアリマスガ、

是等ノ損害モ澤山アラウト考ヘマス、其他ニ露西亞ノ鐵道技師ナルモノハ、其外鐵道ニ關シタ役人ト云フモノハ、隨分虐殺ヲサレテ居ル模様デアアル、サウ致シマスルト此連名公書ヲ造ル際ニハ、露西亞モ其受ケタル損害ニ對シテ、何トカ其場合ニ交渉ハナカッタモノデアアルカ、又現ニ支那平和ヲ具ニ克復スルト云フコトニ附イテハ、所謂露西亞ノ兵隊ヲ滿州ヨリ引取ラセルト云フコトガナケレバ、本當ノ平和ト云フモノハ回復サレヌモノデアアル、サウ致シマスレバ殊ニ日本ノ如キ、英吉利ノ如キハ、最モ此滿州北部ノ方ニ對シテ利害ヲ持ッテ居ルモノデアアル、スレバ是等ノ點ニ附イテハ他國カラ提案ガナクトモ、日本政府ハソコアラタリヲ注意セラレテ、此滿州ノ處分ニ附イテ列國ニ交渉ヲサル、ト云フ、御氣ハ附カレナカッタモノデアアルカ、若クバ當局者ニ於テ其等ノコトヲ氣ハ附イテ居ッタケレドモ、之ヲ持出セバ却テ交渉ニ害ガアルト云フヤウナ御懸念デモアッタモノデアアルカ、或ハ先ヅ北清ノ此列國共ニ利害ノアル所ノ大問題ヲ定メテ、然後ニツレガ結了シタ後ニ滿州ノコトヲ、更ニ協議ヲ開クト云フノ見込ヲ以テ、此點ヲ加ヘラレナカッタモノデアアルカ、ツレガ或ハ又外交上ニ關ハルト云フヤウナコトデアリマスレバ、強テ何フ譯デアアリマセヌガ、併シ大分此連名公書ノコトニ附イテハ委シク御報道ノアル所ヲ承リマシタカラ、ツレ等ノコトヲ御開キ申シテモ宜イカト考ヘマス、此點ヲ承リタイ、モウ一ハ此滿州ヘ露西亞ガ兵ヲ出シタト云フコトハ、畢竟鐵道ヲ破壞サレ、其自國ノ利益ヲ害セラル、カラ、兵隊ヲ出シタノデアアル、斯ウ云フヤウニ御報道ニナッタヤウニ承リマシタガ、是ハ隨分大事ナコトデアラウト私ハ考ヘマス、愈、必要ニ依ッテ己ノ利益ヲ害セラレテ始メテ兵隊ヲ出シタト云フ、眞ニ其事實ガ明カニアルカ、若クハ昨年以來隨分挑發的ノ運動モアッタヤウニ承ッテ居ル、或ハ餘リ必要ナイ所ノ軍隊ヲ侵入セシメタト云フコトモ、世間餘程ヤカマシキ議論モ承ッテ居リマスノデ、是ハ眞ニ必要ガアッテ出シタト云フカ、若クハサウ云フ形勢モアッタケレドモ、ツレガタメニ兵隊ヲ出シ掛ケテ、段々大兵ヲ出スト云フヤウナ行掛リニナッタト云フ譯デアアルカ、是ハ餘程其事實ニ依ッテハ將來大ナル關係ヲ生ズルコトデアラウト思ハレ、ツレデ是等ハ當局者ニ於テ、固ヨリ十分ニ確實ナル證據ヲ御調ニナッデノコトデアアリマセウト考ヘマス、併シ或ハ日本政府ニ於テハ軍隊以外ノ——軍事上以上ノ視察員デモ出シテ、確實ナル事實ヲ調ベタト云フコトニ基カル、コトデアアルカ、或ハ又歐羅巴各國ノ此新聞記者、其他通信員、其他種々ナル「ブライベイト」ノ報告ニ據ッテ確實ナルモノデアアルカ、又ハ公使館ノ確實ナル報告ト雖モ其基ク所ハ餘程確實ナルモノデアアルカ、此露西亞ノ兵隊ヲ抑、滿州ヘ入込マセルト云フ所以ハ、今ノ御報道ノ如キモノデ、無論又其基ク所ノ事實ハドウ云フ風ナ種カラ確メラレタデアアルカ、或ハ又是ナドモ最モ秘密ニ調ベラレタコトデ、公然ト發表スルコトガ出來ヌト云フナラバ強テ承ル譯デアアリマセヌガ、御差支ノナイ限ハ其ニ二點ニ附イテ、御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○外務大臣(加藤高明君) 第一ノ點ハ連名シテ、北京ノ會議ニ於テ露國ガ其人命若クバ財產ニ受ケタル損害ノコトニ附イテ、何カ持出シタカト云フコトデアアッタト思ヒマスガ、サウデアリマスカ

○大石正己君(百五十七番) 左様、露西亞カラモ持出シタノデアラウガ、露西亞カラ持出サナイデモ、日本政府デハ此露西亞ノ受ケテ居ル損害、或ハ又

ハ其露西亞ノ兵隊ヲ退カセルト云フコトニ附イテノ箇條ガ、更ニ見エテ居リマセヌガ、ツレ等ハ日本政府カラモ提出セラレタモノデアアルカ、ドウデアアルカ

○外務大臣(加藤高明君) ハッキリ御趣意ハ分リマセヌガ、凡ソ推察シタ所デ御答シマセウ、先刻十二箇條ノ要求ノコトハ委シク申上ゲマシタガ、其中ノ第何條カ今空デ記憶致シマセヌガ、國家團體及個人ニ對シテ損害ノ賠償ヲ爲スベシト云フコトガアリマス、此箇條ニハ露西亞モ同意シテ居リマスカラ、彼ニシテ損害ヲ求メル必要ガアルト思ヘバ、是カラ後持出スデアラウト思ヒマス、併ナガラマダ其損害ノ高ノ金額等ニ附イテ、何レノ國カラモ持出シテ居リマセヌ、是カラ後ノ商議ニアルコト、思ヒマス

○大石正己君(百五十七番) イヤ、ツレハ損害ダケヲ含ンデハ居ラヌ、損害ダケヲ決シテ含ンデハ居ラヌ、滿州ノ問題ヲ落著スルト云フコトニ附イテハ、此連名公書ヲ作ッテ支那政府ト交渉スルトキニ、此事件ニ對スル案ガナケレバナラヌ、是ハ露西亞政府ガ自ラ持出サナクテモ、此滿州ニ利害ヲ持ッタ國ニハ必ズ不審ヲ起サナケレバナラヌ點デアアルノミナラヌ、不審ヲ起スデハナイ、此滿州ノ處分案ト云フコトニ附イテハ、列國共同ノ利害ヲ以テ居ル地點デアアル、之ニ向ッテ提案ガナイト云フノハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フ問デス

○外務大臣(加藤高明君) ツレハ先刻御話シマシタガ、十二箇條ノ要求ノ外ニモ此事ヲ入レタラ宜カラウト云フ箇條モ、諸君ノ中ニ考ヘラル、コトモアラウシ、又コンナ事ハ入レヌデモ宜イザアナイカ、入レテモ他ノ方法ニシテ入レタラドウカト云フコトモアリマセウケレドモ、此十二箇條ガ悉ク同意シナクテハイカヌ、一箇國デモ不同意ガアレバ成立タヌ、ツレデアリマスカラシテ、アノ要求ノ成立タヌノモ重ニ各國ニ共通シタコトノミデ、或ル國ニ特殊ノ關係ノアリコトハ獨逸ノ公使ノ虐殺ニ對シテ、獨逸ノ首府ニ謝罪使ヲ送ルト云ヘシコト、ツレカラ我杉山書記生ノ虐殺ニ對シテ、我國ヘ名譽アル賠償ヲ爲スト云フコトノ外ハ、皆各國共通ナノデアリマス、其外ニ言出シテモ宜イカ知レマセヌガ、十二箇條ノ悉ク同意ヲ得ナケレバナラヌ、一國デモ不同意デアッテハ成立タヌト云フコトデアリマスカラ何處ノ國デモ他國カラ排斥セラレ、ヤウナコトハ餘リ言ハナイ、是ハ自然ノ情デアリマセウ、ツレデ滿州ノ事ハ何處ノ國カラモ、滿州ヲドウスルト云フヤウナコトヲ、箇條トシテ連名公書ノ中ニ加ヘルト云フヤウナ提議ハ、ナカッタノデアリマス

○大石正己君(百五十七番) ツレガ……

○議長(片岡健吉君) 大石君、發言スルナラバ議長ノ許可ヲ得テ……

○大石正己君(百五十七番) イヤ失念致シマシタ——議長、百五十七番

○議長(片岡健吉君) 大石正己君

○大石正己君(百五十七番) ツレデ固ヨリ此滿州コト、云フモノハ、列國ニ共通シタル利害ヲ持ッテ居ルニ違ヒナイ、殊ニ日本ニハ最モ大ナル利害ヲ持ッテ居ル、サウシテ此杉山書記生トカ、若クハ彈藥ヲドウスルトカ、或ハ又其他價金ヲドウスルトカ云フヤウナ、日本モ提議シタト仰シヤルナラバ、即チ此物ノ輕重カラ論ジタ所ガ、滿州ノ如キ大利害ヲ持ッテ居ル其問題ト云フモノニ、更ニ口出シヲシナイ、提案ヲシナイト云フコトガ、私ニハ不審ニ堪ヘナイ

○外務大臣(加藤高明君) 私ハ事實ノ御問ニ對シテ御答ヲシタノデアリマス
カラ、其提案ヲ出サナイノガ惡ルイト云フノハ議論デアラウト思ヒマス、此
處デ私ト大石君ト議論ヲシタ所ガ果デシガナイト思ヒマスカラ、若シ意見ガ
違フト云フナラバ仕方ガナイガ、事實ハ其事ハ何處カラモ申出サナカッタ
云フノガ事實デスカラ……

○大石正己君(百五十七番) ツレハ代言流ニ云ヘバサウデアラウケレドモ、
事實カラ申セバサウ云フ事實デアラウト思フ、然ルニ其第二ノ點……

○議長(片岡健吉君) 大石君、議長ノ許可ヲ得テカラ發言スルヤウニ……

○星亨君(二百四十一番) 議長

○議長(片岡健吉君) 星亨君
○星亨君(二百四十一番) 私モチヨット質問シタイ、先程十二箇條ノ所謂共同
公書ヲヤッタトキニ當テツレノ手續ヲ加ヘデ全權ヲ得テ來イ、且ツ勅諭
ヲ發セヨト云フコトヲ注文シタサウデアッテ、サウシテ加藤君ノ報告ニハツ
レノ手續ハ濟ンダト云フコトガ出デ居リマスガ、支那政府ハ果シテツレ
ガタメニ勅諭ヲ發シテ——全國ニ勅諭ヲ發シタカドウカト云フコトハ聽キ漏
シマシタガ、果シテ此方カラ申シタ通支那政府ガ詔勅ヲ發シタコトニナリマ
スカ、ドウカ……

○外務大臣(加藤高明君) 其詔勅ヲ發シテドウ云フ手續デ公布シタト云フコ
トハ、政府ニ報道ハ達シテ居リマセヌガ、各國ノ申出シタ通ニ上諭ヲ發セラ
レタ、其上諭ノ寫ナルモノハ——支那ノ國璽ヲ捺シタ寫ガ各國公使館ニ回ッ
テ居ル、同デ居ルコトハ確デアル

○星亨君(二百四十一番) 其文ハ分リマセウカ、大體ノコトデ宜シウゴザイ
マスガ……

○外務大臣(加藤高明君) 此書面ハ略々世間ニ分ッテ居リマスケレドモ、外交
文書デアリマスカラ、全文ヲ此處デ公言スルコトハ出來マセヌガ、今ノ御尋
ノコトヲ……

○星亨君(二百四十一番) 報ズル所ト大抵違ヒマセヌカ

○外務大臣(加藤高明君) 違ヒマセヌ

○星亨君(二百四十一番) 詰リ十二箇條ノ各國ノ要求ヲ認メテ、勅諭ヲ發シ
タト云フコトサヘ分レバ宜イノデス

○外務大臣(加藤高明君) 其一部分ハ斯ウ云フ趣意デス、支那ノ全權カラ寄
越シテ手紙ノ中ニ、各國カラ先ニ送ッテ手紙ノ全文ヲ掲ゲテ「右公書ノ全文ヲ
皇帝陛下ニ傳奏シ陛下ハ之ヲ親閱セラレタル後左ノ如キ勅諭ヲ發セラレタリ
云々」トシテ、即チ皇帝陛下ガ各國カラ申出シタコトヲ、全然承諾スルコトヲ
宣言スト云フ意味ノ勅諭デス

○星亨君(二百四十一番) ツレデ其勅諭ガアッテ、目下ノ所デハツレヲ政府ハ
眞正ナルモノト認メラレタモノト、私ハ考ヘテ宜イノデスカ

○外務大臣(加藤高明君) 眞正ナル勅諭デアアルヤ否ヤト云フコトデスカ

○星亨君(二百四十一番) 政府ガ認メテ居ルカト云フ……

○外務大臣(加藤高明君) 認メテ居リマス、ツレカラ先刻大石君ノ御尋ガ一
箇條殘ッテ居リマシタガ滿州ノ露西亞ガ兵ヲ入レタノハ、支那人カラ最初露領
ニ侵入シタ、又一ツハ鐵道ヲ破壞シタ、露西亞ノ東清鐵道ヲ破壞シタト云フ
タメニ、自家防禦ノタメニ兵ヲ入レタノデアアル云々ト云フコトハ、ドウ云フ

モノデアラウカ、政府ハ其露西亞ノ言フ所ヲ至當ト認ムルヤ否ヤ、用モナイ
ノニ兵ヲ入レタノデハナイカト云フヤウナコトニハ、政府ガ認メナイカト云
フ御尋ノヤウニ承リマシタガ、私ハ茲ニ此公場ニ於テ我締盟國ノ行爲ニ就イ
テ、諸君ト討論シテ其締盟國ノ行爲ヲ批判スルコトニ附イテ、茲ニ諸君ト討
論ヲスルノハ、我外交ノ利益ヲ進ムル所以ニアラズト信ジマスルガ、故ニ其
點ハ答辯致シマセヌ

○大石正己君(百五十七番) イヤチヨット——議長、百七十五番

○議長(片岡健吉君) 大石正己君大石正己君

○大石正己君(百五十七番) ツレハチヨット間違ッテ居ルヤウデアリマスガ、
御尋ノ事ニ附イテハ「分ラヌ」ト呼フ者アリ」默ッテ御居デナサイ——其報道
ヲ得ラレタト云フノハ、露國政府ノ報道デアアルノカ、或ハ又我外交上ノ「エ
ゼント」ニ依ッテ得ラレタ報道デアアルノカ、ツレハ先ニ外務大臣モハッキリ其報
道ニ附イテハ仰シヤラナカッタノデアアル、或ハ露國政府ガ鐵道ヲ傷メラレテ、
我利益ヲ害セラレバ已ムヲ得ズ兵ヲ出シタト云フ通知デアアルノカ、若クバ外カ
ラ其報道ヲ聞カレタモノヲ報セラレルノデアアルカ、チヨット其邊ノコトガ……

○外務大臣(加藤高明君) 其點ハ第一露國政府カラノ通牒ニモアリマス、ツ
レカラ其他ノ筋ニ依ッテモ、矢張同様ナ報道ニ接シテハ居リマスガ、我政府ハ
如何ナル機關ヲ使ッテ種々ナル報告ヲ得ルカト云フコトハ、此處デ公言スル
ノハ甚ダ不利益デアラウト考ヘマス

○大石正己君(百五十七番) サウスルト、其義ハ能ク分リマシタガ、第一條ニ
就イテハ先ニ混雜シテ一向聽取レナカッタノデスガ、政府ハ詰リ列國協商ノ間
ニ於テ、其露西亞撤兵問題若クハ此滿州ノ善後策ト云フコトニ就イテハ、ド
ノ國カラモ提出ガナカッタカラ協議ヲ遲滞サセル虞ガアッテ、其滿州ノ問題ヲ
出サナカッタト云フヤウニ承知シテ居リマスガ……

○外務大臣(加藤高明君) サウ云フ提案モゴザイマセヌガ、隨分込入リマス
ガ尙ホ私ノ唯今ノ演說ニ附イテ或ハ先刻朗讀ニナッタ答辯ニ附イテ、更ニ御
不審ガアレバ御質問ナサッタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○大石正己君(百五十七番) ドチラデモ宜シウゴザイマスガ、序ダカラ承ッテ
譯デアアル(分ラヌノダ)ト呼フ者アリ)分ラヌ人ハ其腦髓ガ分ラヌノデス、何
レ書面ニデモ致シマシテ……

○外務大臣(加藤高明君) 其方ガ宜カラウト思ヒマス
○田口卯吉君(五十九番) 外務大臣ニ極ク簡單ノコトデゴザイマスガ伺ヒマ
ス、露西亞ガ滿州ニ兵ヲ出シマシタト云フコトニ附キマシテハ、先刻外務大
臣ヨリ御辯明デ分リマシタガ、既ニ滿州ヲ露兵ガ占領シマシタ今日、益
露西亞ハ兵ヲ滿州ニ入レル傾ガアルト信ジテ居リマス、デ既ニ數方ノ陸軍ヲ
歐洲ヨリ送ルト云フヤウナ報道モ新聞ニ見エテ居リマスガ、確ニ事實デアラ
ウト思ヒマス、此兵ヲ送ルト云フコトハ支那ノ兵ヲ逐フト云フ意味デハナク
テ、既ニ占領シタル滿州ニ更ニ大兵ヲ送ルト云フ事實ニナルト信ジテ居ル
露西亞ガ先ニ滿州ヲ占領スル意味ハナイ、清國ノ領土ヲハヅルト云フ趣意ハ
ナイト云フ、帝國政府ハ通牒ニナツタト云フコトハ外務大臣ノ御辯明デ分リ
マシタガ、其通牒ト此舉動トハ稍々相反スル如クニ吾々ハ信ズルノデアアル、之
ニ就イテ我帝國政府ガ露西亞政府ヘ向ッテ如何ナル趣意ヲ以テ、其兵ヲ送ル
カト云フコトヲ質問デモ爲サレタコトガアルカドウカ、此點ヲ伺ヒタウゴザ
イマス

○外務大臣(加藤高明君) 唯今田口君ノ御尋ハ、最初ノ起リハ兎ニ角ニ、今日尙水兵ヲ送リツ、アルヤロニアル、ツレニ附イテ何カ掛合タコトガアルカト云フ御尋、政府ハ露西亞ハ今日マデ送兵シツ、アルト云フ事實ニ附イテ、別ニ報道ニ接シタコトガアリマセヌ、新聞紙デハ見マシタガ、アルカモ知レマセヌガ、其報道ヲ得テ居リマセヌ、其事柄ニ附イテ、從テ何モ露西亞政府ニ質問シタコトモアリマセヌ

○柴四郎君(百三十七番) 私ハ簡單ナ説明ヲ煩シタイト思ヒマス、第一條ハ先刻ノ同文公書ノ第六條條カニ賠償云々ト云フコトガアリマシタガ、諸新聞紙ニ據リマスレバ各國ニ於テ賠償ノ高ヲ支那政府ニ申出シタコト云フコトガ散見シテ居リマスガ、日本政府ニ於テ果シテ賠償ノ金高ト云フモノヲ、既ニ申出シタカ否ヤト云フコトヲ御尋スルノガ一ツデアリマス、モウ一箇條ハ既ニ今日秩序ガ回復スルニモ拘ラズ、近來ノ報道ニ據レバ各國ハ名ヲ團匪ノ騷動等ニ托シテ、無算ノ支那人民ニ言フベカラザルノ損害ヲ與ヘルノ報道ガ尙ホ止マナイ、故ニ戰爭行為ガ既ニ終シタト云フコトヲ認メ、竝ニ發言スルノハ日本政府竝ニ米國政府ノモデアリタ、其他ノ者ハ尙ホ戰爭行為ガ中止シテ居ラヌト云フコトデアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、我日本政府ハ既ニ北清ニ於テハ、戰鬪行為ト云フモノハ中止シナイト云フコトヲ認メテ居ルヤ否ヤノ説明ヲ煩シタイノデアリマス

○外務大臣(加藤高明君) 唯今ノ柴君カラノ御質問ノ第一條ハ、新聞紙ニハ各國カラ賠償金額ヲ申出シタト云フコトガアルガ、其報道ガアルヤ其事實ガアルヤ否ヤト云フ御尋ノヤウニ承リマシタガ、サウ云フ事實ハ未ダアリマセヌ、新聞紙ノ報道ハ無根ナモノデアリマス、ツレカラ第二ニハ戰鬪行為ハ尙ホ繼續セラレテ居ルモノト、我政府ハ見ルヤ否ヤ、少シクドウモムヅカシイ御尋ノヤウニ思ヒマスガ、帝國政府ハ今日別段ニ戰鬪行為ガ繼續サレテ居ルモノト見マセヌ、尙ホ併ナガラ兵ヲ駐メテ、多數ノ兵ヲ駐メテ居ルト云フノハ、平和ガ全ク回復サレタトモ認メヌカラ、兵ヲ駐メテ居ル所以デアリマス、ツレデ御答ニナルダラウト思ヒマス

○柴四郎君(百三十七番) 日本政府ノ意向ハ何處ニアルト云フコトハ了解シマシタガ、各國ニ於テハ戰鬪行為ヲ止メシテ、北京近傍ニ尙ホ兵ヲ諸方ニ出シテ、無算ノ人民ヲ困メツ、アルト吾ハ思ヒマスルガ、各國ハ事ヲ騷動ニ托シテ支那ノ人民ニ危害ヲ與ヘ、或ハ又言フベカラザル行動ヲ爲シツ、アルト云フコトヲ吾ハ聞イテ居リマスガ、政府ハサウ云フコトハ一切認メナイノデアリマス

○外務大臣(加藤高明君) 近頃ニナツテハ餘リ承リマセヌガ、或ル一二國ガ遠征軍ヲ各所ニ送ラタト云フコトハ、數週間前ニハ大分報道ガアリマシタ、併シツレガ必要デアッタヤ否ヤト云フコトハ、外國ノ行為ノ非難ヲスルコトハ私ハ甚ダ好マナイ、又不利益デアラウト思ヒマス、又日本ハツレニ加ッテ居ラナイコトハ、御承知ノコトデアラウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) モウ大抵御質問ガ濟ンダモノト認メマスガ、今議題トナツテ居リマス、政府ヨリ事後承諾ヲ求メラレマシタ二案デアリマスガ、格別之ニ附イテ御質問ガアリマセネバ、此議案ハ同ジ委員ニ託シテ、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス

○議長(片岡健吉君) 百三十八番 此次ノ日程ハ第十一ヨリ第十六マデノ所ハ、風トカ蟲トカ早トカ云フタメニ免租シテ吳レイト云フ法律案デアリマスガ、是ハドウカ一括シテ議題ニナリタイ、諸リ先キノ水害地方田畑地租ニ關スル法律案ト云フモノガ出テ居リマスカラ、其委員ニ託シテ貰ヒタイ、一括シテ議題ニナランコトヲ望ミマス、説明ヲシタイ御方ハ御勝手ニ述ベルガ宜イト云フ、是ニ御異議ガアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 今恆松君ノ十一ヨリ十六マデヲ一括シテ討議ニ供スル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマセネバ一括シテ議題ニ供シマス議案ノ朗讀ヲ省略シマス

十一 潮風被害地租特別處分法案(永井嘉八郎外二名提出)

第一條 本法ハ靜岡縣庵原郡蒲原町、由比町、富士郡田子浦村、元吉原村、須津村、吉永村、原田村、今泉村、島田村、傳法村、岩松村、加島村、駿東郡原町、浮島村、鷹根村、片濱村、沼津町、大岡村、金岡村ニ於テ明治三十三年九月二十八日潮風ニ因リテ生シタル損害地ニ適用ス

第二條 前條ニ該當スル土地ニシテ收穫皆無ナルモノニ限リ明治三十三年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限リ之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ヨリ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年三月三十一日迄ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限内ニ申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セヌ

十二 潮風被害地租特別處分法案(井上彦左衛門提出)

第一條 潮風被害地租特別處分法案 第一讀會

第二條 潮風被害地租特別處分法案 第二讀會

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限り之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ヨリ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年三月三十一日迄ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限内ニ申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

十三 蟲害地地租特別處分法案、鯉島相政外七名提 第一讀會

第一條 本法ハ明治三十三年中宮崎縣宮崎郡生目村、瓜生野村、大宮村、那珂村、佐土原村、廣瀬村、住吉村、東諸縣郡高岡村、穆佐村、倉岡村、木脇村、本庄村、兒湯郡新田村、都於郡村、三財村ニ於テ浮塵子ノ害ヲ被リタル土地ニ適用ス

第二條 前條ノ土地ニシテ收穫皆無ナルモノニ限り明治三十三年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限り之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付既ニ納メタル地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年三月三十一日迄ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限内ニ申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則

本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

十四 蟲害地地租特別處分法案(野尻岩次郎外三名 第一讀會)

第一條 本法ハ明治三十三年中京都府紀伊郡吉祥院村、上鳥羽村、下鳥羽村ニ於テ浮塵子ノ害ヲ被リタル土地ニ適用ス

第二條 前條ノ土地ニシテ收穫皆無ナルモノニ限り明治三十三年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限り之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付既ニ納メタル地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年三月三十一日迄ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限内ニ申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

十五 蟲害地地租特別處分法案(山口熊野外五名提 第一讀會)

第一條 本法ハ明治三十三年中和歌山縣日高郡印南町、南部町、比井崎村、三尾村、鹽屋村、稻原村、名田村、切目村、切目川村、岩代村、上南部村ニ於テ螟蟲ノ害ヲ被リタル土地ニ適用ス

第二條 前條ノ土地ニシテ收穫皆無ナルモノニ限り明治三十三年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限り之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付既ニ納メタル地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年三月三十一日迄ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限内ニ申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則

本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

十六 旱害田地地租特別處分法案(工藤行幹外一名 第一讀會)

第一條 本法ハ明治三十三年六月ヨリ十月マテノ旱害ニ因リテ生シタル損害地ニ適用ス

第二條 荒地ニ至ラサルモ收穫皆無トナリタル田地ニ限り明治三十三年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十三年分ニ限り之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ損害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法施行前ニ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十四年六月三十日迄ニ申出ヘシ若此ノ期限内ニ申出サル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則

本法ニ依リテ特免シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

○工藤行幹君(六十六番) 第十六マデ一括スルノデゴザイマス、然ラバ十六ニ就イテ敢テ説明スル程デアリマセヌガ、諸君ノ賛成ヲ得テ少シ訂正シテ置キタイト思ヒマス、第十六ノ議案ニ……

○議長(片岡健吉君) 工藤君、今此十六ノ御説明ナラバ、順序ニ依ッテ遣リマセウ、少シ、御待ナサイ

○工藤行幹君(六十六番) ソレデアリシウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 鹽路彦右衛門君

(鹽路彦右衛門君演壇ニ登ル)

○鹽路彦右衛門君(二百七十一番) 簡單ニヤリマス、私ノ提出シマシタノハ矢張蟲ニ喰ハレタ方デアリマス、一舂和歌山縣ノ海岸ノ沿岸ノ土地ハ、前年來カラ此蠅蟲ノタメニ喰ハレテ居リマス、併シ是マデ多ク二化生ノ蠅蟲デアリマシタガ故ニ、早稲ニハ餘リ害ガ少ウゴザイマシタガ、段々此農家ガ作物ヲ變ジテ是迄中稲早稲ト云フモノガ多クアリマシタノガ、近年ニナッテスッカリ早稲ニナッテシマヒマシタ、早稲ハ中、晚ニ較ベマスト餘程收穫ハ少ナイガ、蟲害ハ稍、少ナイノデアリマス、昨年即チ此三十三年ノ彼ノ二化生ト三化生トガ併發致シマシテ、非常ノ被害ヲ與ヘマシタ、即チ此案ニ出シテアリマスル十七箇町村ト云フモノハ、最も其被害ヲ被ッタ甚ダシイ土地デアリマス、昨午秋ニナリマシテ彼ノ三化生ガ蔓延致シマシテ、到底之ヲ撲滅スルコトガ出来ナイ位ノ勢デゴザイマシタガタメニ、地方廳ハ農商務省ノ方ヘ二回請求致シマシテ、前後二回技師ヲ派遣サレマシタ、ソレデ段々豫防法ヲ講ジマシタガ、何分ニモ現在作ッテ居ル所ノ稻ハ満面モウ、白穂トナッテ、少モ青ヲ見マセヌヤウナ有様デアリマス、之ヲ豫防撲滅スルニハ多少ノ費用モ要リマス、既ニ農家ハ初夏ヨリ苦心經營シテ、唯秋收ノミ樂ンデ居タガ、一朝斯ノ如キ白穂ト爲ッタガタメニ、最早蟲ノ撲滅ト云フ勇氣ガナカッタノデ、已ムヲ得ズ蟲害驅除豫防規則ヲ勵行シテ、即チ警察ノ力ヲ借りテ撲滅ニ色ミト手ヲ盡シタ譯デアリマス、誠ニ其有様ヲ見マスニ、慘狀ヲ極メテ居リマス、此案ヲ出シテドウカ特別ノ處分ニ依ッテ此分ニ限ッテ其免除ヲ願ヒタイ考デアリマス、ドウカ諸君モ御憐察下スッテ宜シク御詮議アラシコトヲ希望致シマス

○工藤行幹君(六十六番) 私ハ茲デ簡單ニ申シマスガ、理由ハ敢テ申シマセヌガ、提出者ニ伊藤直純君ヲ加ヘ、理由書ニ秋田縣下ニモ澤山同様に害ガゴザイマスカラ、青森、巖手、秋田三縣ト云フコトニシタイノデアリマスカラ、是ダケ議長ノ御承諾ヲ得マシレバ宜シイノデアリマス、ソレデ委員ノコトハ前ノ委員ニ付託差支ゴザイマセヌ

○議長(片岡健吉君) 伊藤直純君ヲ提出者ニ加ヘルコトガ落チテ居タト云フコデアリマスガ、議案ガ配付セラレテ日程ニ上ッタ後ニ、提出者ヲ加ヘルト云フ例ハナリノデスガ、是ハ訂正ヲスルノデアリマス

○工藤行幹君(六十六番) チョット申シマスガ、此間秋田縣ノ諸君カラ是非ニ議案ヲ提出シヤウト云フコトキ、書記官ノ方カラ議場デソレダケノコトノ承諾ヲ得レバ宜カラウト云フコトデ、法律案ヲ提出スルヨリ却テ便利デアラウト云フ忠告ガアリマシタカラ……

○議長(片岡健吉君) ソレナラバ訂正ト見テ加ヘテ置キマス

○工藤行幹君(六十六番) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 何デモ宜シイ、加ヘレバ宜シイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ先ニ政府カラ提出ニナッテ居ル水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案、此委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通致シマス、次ハ議事日程第十七議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、根本正君

十七 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外六名提出)

未成年者飲酒禁止法案

第一條 未成年者ハ酒類ヲ飲用スルコトヲ得ス

第二條 前條ニ違反シタル者又ハ未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメタル者若ハ未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者ニシテ情ヲ知リ其飲酒ヲ制止セサル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス但シ結婚及縁組ニ關スル禮式ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(根本正君演壇ニ登ル)

○根本正君(二百二十二番) 議長閣下及諸君、此法案ニ就キマシテハ理由書ヲ既ニ諸君ノ御手許ヘ出シテ置キマシタカラ、極簡短ニ申シマス、諸國家ノ富マシ、人民ヲ強ウシ、以テ社會ヲ高尚ノ地位ニ進歩セシムルニハ、教育ノ方針ヲ西洋ノ共立的教育制度ニ據ラナイト云フコトヲ得マセヌ、東洋ノ教育ハ古來孤立的ニシテ、我帝國ニ於キマシテモ王政維新以前ニ於テハ、教育ト云フモノハ專ラ武士ノ社會ニミ行ハレマシテ、平民ノ教育ト云フモノハ誠ニ卑屈ノ間ニ生活サレタ譯デアリマス、印度ガ今日英國ノ領分ト爲リ、前ニ外務大臣ノ申サレタ通、支那モ今日餘程ムツカシイ譯ニナッテ居リマス、其實支那ハ今當ニ實狀別強ノ共有ニ歸セントスル勢デアリマス、斯ノ如ク弊害ヲ受ケマスハ何デアアルカト云フト、支那ノ教育ガ孤立的ノ然ラシムル所デアリマス、東洋ノ人ハ其習慣ヲ異マザルモノ、如クデアリマシテ、矢張今日モ共立的デナク、孤立的ヲ以テ満足シテ居ル有様ハ、文明ノ民ハ深ク其邊ヲ思考シナケレバナリマセヌ、故ニ本員等ハ未成年者飲酒禁止法案ヲ提出シテ、大ニ我帝國ニ於テ共立的教育ヲ助ケンツルノデアリマス、眞ノ我帝國ノ父母タル者ハ未成年者即チ學生デアリマス、賢父良母ヲ得ントスレバ、未成年者二十分注意シナケレバナラヌ、本案ハ學生ヲ罰スル譯デナク、其青年者ヲ救ヒ出サウト云フ譯デ、今日青年ニシテ墮落放蕩ニアルヲ救ッテ、國民タル本分ヲ盡サシメントスルニアルノデアリマス、青年ガ飲酒ノタメニ其學業ヲ中絶シ、或ハ落第スル者ガ常ニ枚舉スルニ暇アラザル程デアッテ、其生徒本人ノ不幸ノミナラズ、其兩親タル者ノ心情ヲ察スルトキハ、私ノ辭ヲ以テ述ベ盡スコトガ出来ナイコトデアアル、茲ニ一例ヲ申シマスレバ、昨年七月十日ハ帝國大學ノ卒業式デアリマス、其生徒ガ即チ其前夜、即チ七月九日ノ晚ニ大酒ヲ飲ンデ、其結果不埒千萬ナコトヲシタタメニ、終ニ已ムヲ得ズ帝國大學ノ總理ハ會議ヲ開イテ、今日卒業スベキモノヲ放逐——退校シタ例ガアリマス、詰リ斯ノ如キコトハ帝國大學ノ生徒ノミナラズ、此中學ノ十七八歳ノ生徒ニ於テモ比比アルコトデアリマス、斯様ナ譯デアリマス故ニ、放蕩ノ學生ガ其時分四名退

校サレテアリマシタガ、此法案ガ若シ一三年前、十年前ニ出来テ居ッタナラバ、今日放蕩スル書生、墮落スル書生ガナイヤウニナッタデアラウト思フ位デア、親ニ不孝ヲカケ國ニ不忠ヲ爲ス者ヲ、之ニ依ッテ救ヒ出スノデアリマス、西洋ノ教育方針ハ東洋ノ國ニ反シテ孤立的ノ方針ヲ取ラナクテハ、共立的ノ即チ政治的ニ建設サレテ居ル故ニ、教育ノタメニハ公稅ヲ以テ教育ヲ維持シ、而シテ人民ノ智識ノ開發ハ廣ク平均主義ニ基ケルヲ以テ、國家人民ハ益々富強ヲ呈スルヤウナ勢ニナツテ居リマス、教育ハ夙ニ法律ヲ以テ保護スベキモノデアルト云フコトノ說ヲ立デマシタノハ、今ヲ距ルコト二千三百年、希臘ノ先哲ブレトノ明言サレタ所デゴザイマス、爾來西洋各國デハ法律ヲ以テ教育ノ上ニ干渉シ、殊ニ近來文明國ハ學制統一ヲ圖テ國民教育ニ重キヲ置ク譯デアリマス、實ニ今日東洋ノ有様ナドヲ見ルト、日本ノ知事ガ此東京ニ於テ學制統一ニ反對スルト云フノハ實ニ困タコトデアリマス、斯ノ如キ孤立的ノ教育方針ト云フモノヲ、去リマシテ、ツウシテ共立的ノ教育ヲ實行スルト云フヤウニナツタト云フコトノ證據ガアルノハ、誠ニ喜バシイ話デア、即チ第十三議會ニ於テ小學校ノ授業料ヲ廢サナケレバナラヌト云フ所ノ建議案ニ諸君ガ賛成サレテ通過シ、之ニ續イテ國庫補助法案モ通過シテ、今日ハ百萬圓以上吾々人民ヨリ助ケテ居ルト云フ譯デアリマス、是ハ誠ニ我帝國ニ於テ喜ブベキコトデアリマス、斯ノ如ク學生ノタメニ國費ヲ以テ維持シ、即チ助ケテ居リマスル以上ハ、其青年ノタメニ制裁ヲ加ヘテ、好キ結果ヲ社會ノ上ニ來サントスルハ、御同様デアリマシテ力メナケレバナラヌト云フ所ノ建議案ハ又財政上ニ大ナル關係ガアル譯デアリマス、何故ト申シマス、財政整理ノ一源タル海關稅改正ヲ希圖スルニ當リマシテモ、實ニ是ハ關係ガアリマス、現條約ノ不備缺點アルト云フコトハ、單ニ獨逸條約中ノ第九條ニ在ルノミニ止マラス、協定稅率中ノ其改正スベキモノガ少ナウゴザイマセヌ、例ヘバ砂糖稅ヲシテ海關稅ト爲ス能ハザルモノガ亦之ガタメデアリマス、我眞正ノ財政整理ト云フモノハ、今ヨリ十年六箇月ノ後更ニ條約ヲ改正シ、海關稅ヲシテ我國法ノ下ニ自由ナラシムルニアラザレバ、如何トモスルコトガ出来ヌト云フコトヲ私ハ認メマス、其第一財政ヲ整理スルト云フコトハ、是マデア、所ノ外交官ノ手デハ出来ヌト思ヒマス、是ハ唯是ヨリ育ツ所ノ今日ノ青年、即チ今日ノ青年ガ是ヨリ十年ノ後如何ナル智識ヲ以テ輿論ヲ支配シ、如何ナル方法ヲ以テ外交ニ當ルト云フコトヲ、大ニ考ヘナケレバナラヌセヌ、若シ今日五百万ノ學生ヲシテ飲酒ノ害ヲ脱セシメ、皆五百万ノ學生ニ其目的ヲ達セシムル方針ヲ執リマシタナラバ、次ノ條約改正ニシテ列強對等ノ條約ヲ訂結スルハ取テ難キニアラヌ、必ズ出來ルダラウト思ヒマス、國家ノ大本ト云フモノハ生産的教育ニ在リマシテ、其生産的教育ヲ實行セントスルニハ、未成年者飲酒禁止法ニ依ラナケレバナラヌ、諸君希ハクバ國家ノタメニ眞理ヲ愛シ、人民ノ進歩ヲ圖ッテ、本案ニ御賛成アラントヲ希望致シマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○恆松隆慶君(百二十六番) ドウカハ九名ノ委員デ議長ノ指名ヲ願ヒマス
○佐藤清君(十六番) 提出者ニ對シテヨット時問ヲ致シタイ、立案ノ精神ハ重ニ學生ヲシテ禁酒セシムルト云フヤウニ聞エマシタガ、學生ハ獨リ青年者以下ニ止マラスシテ、青年以上ノ者デ學校ニ居リマス者モアルノデアリマスガ、立案者ハ何故ニ此高等ノ教育ヲ受ケテ居ル青年以上ノ者ニ及バヌノデア

リマスカ、其意思ヲチヨット承リタイノデアリマス
○根本正君(二百一十一番) 唯今御質問デアリマスガ、此法律ト云フモノハ、即チ一ニ殘ラズ行渡ルト云フコトハ出來マセヌ、國家デ金ヲ出シ助ケテ居ル所ノ學校ノ過半數ハ、二十歳以下ノ者デア、且ツ此法案ト云フモノハ、獨リ我日本ニ是ヨリ建デントスルニアラズシテ、文明國ニ今日大ニアル所ノモデ、文明國ハ殘ラズ未成年者以下ノ者デアリマス、故ニ獨リ日本ニ於テ唯今御質問ノヤサナ譯ニハ出來マセヌ、故ニ未成年者ト云フコトハ最モ法律トシテ適當ナルモノト本員ハ認メマス
○武市庫太君(百四番) 此但書ニ結婚及縁組ハ特例ニシテデゴザイマスガ、我國ノ禮式ナドハ或ハ誕生ヲ祝スルトカ、或ハ新年ヲ祝スルトカ或ハ年賀トカ、種々ナ儀式モアル譯デアリマス、又近來西洋ノ儀式ヲ酌シテ金婚式トカ銀婚式トカ云フコトモゴザイマス、ツレヲ單ニ此結婚及縁組ニ關スルト止メラレタ御趣意ハ、ドウ云フ譯デアリマスガ、此婚姻及縁組ト云フモノハ、我國ニ於テハ之ヲ用フル例ガアリマスガ、之ヲ除キマシテ其
○花井卓藏君(百七十九番) 私ハ簡短ニ反對ノ意見ヲ述ベマス、私モ此本案提出ノ趣意ニハ至極賛成ヲ致スノデア、此法律ヲ如何ニシテ行フカト云フ事柄ニ就イテ、甚ダ懸念ヲスルノデア、ツレハ質問ヲ致シテモ宜イノデアアリマスガ、質問ヨリハ矢張議論ヲ述ベテ置キタイノデ、即チ此法律ハ夜行フ法律デア、或ハ晝行フ法律デア、或ハ往來デ酒ヲ飲ミツツ歩ル者ヲ取締ル法律デア、或ハ晝夜共行ハル、法律デア、又家ノ内
○外ヲ問ハズ酒ヲ飲ムモノヲ總テ取締ル法律デア、解釋致シマス所デ、一、一圓九十五錢以下ノ料、即チ違警罪ノ刑ノタメニ、國家ノ權利ト云フモノハ家宅不侵ノ權マデモ侵シテ、サウシテ此夜半ニ一家ノ中ヘ這入ッテ、違警罪ノ取締ヲ爲スト云フ事柄マデ出來ベキ、其他ノ何カ法律若クハ命令ノ見ルベキモノガアルカ、斯ノ如キ事柄ハ此法律ノ執行法トシテ御指ニナル積デア、カ其邊ノ意味合ガ禁酒法案ノ上ニ一モ見ルベキモノガナイ、ツレカラ又行政執行法ナドト云フヤウナ法律モゴザイマスガ、本案ノ如キモノマデ同法ノ及ブ所ノ力ハナイノデア、結構ナコトデアアリマスガ、唯紙ニ書イテ法律ニシタト云フダケデ、力ガナクテハ何ニモナラヌ話デアリマスガ、モウ少シ御熟考ノ上、力アルヤウニ紙バカリデハナイヤウニ、御研究ニナツタヲ如何デアラウカト云フコトヲ私ハ憂ヘマスガ、此點ニ就イテ先ツ反對シ、ツレカラ今一ツハ本案ノ如キ事柄ハ、家庭ノ取締ニ訴ヘ、若クハ學校ノ取締ニ訴ヘ、或ハ其他ノ行政命令ニ於テ、即チ議會ノ協賛ヲ經ルヲ要セザル所ノ行政手續ニ據ッテアル方法ト云フモノハ、イクラモアラウト私ハ考ヘル、ツレデゴザイマスガ、之ヲ故ラニ法律トシテマデ取締マラナケレバナラヌト云フ必要ヲ私ハ發見セヌノデア、行政手續デ如何ニシテモ是ダケノ取締ハ出來ベキ事柄デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、此點ニ於テ反對スル、ツレカラ亞米利加ノ法律ノ御引用モゴザイマスガ、私ノ讀ミマシタ所ニ據ル

ト、此御引用ノ法律ノ中デモ二ツハ怪イ法律デアラウト考ヘル、十分取調ヲ致シテ居リマセヌカラ、總テ間違ッテ居ルトハ申シマセヌ、併ナガラ亞米利加ニ於ケル禁酒ノ法案ト云フモノハ、主トシテ宗教的關係ヨリ出デ、居ルノデアッテ、提案者ガ亞爾蘭保爾ノ害ヲ説カレテ居ルト云フヤウナ趣意カラ出テ居ルノデハナシ、況ヤ此法律ノ中ノ二三分ハ大ニ怪シイト信ズル、喫煙法案ニ附イテ成效シタノデ、酒ハ之ガ相對的關係トシテ必要デモゴザリマセウケレドモ、何シロモ立法デアル、一ノ法律デアルカラ、モウ少シ審議ニナタラ宜カラウト云フノデ、此點ニ於テ私ハ唯今ノ場合ニ於テ、此紙トシテ出テ居ル案ニ反對スル、趣意ニハ贊成スル

○恆松隆慶君(百三十八番) 委員付託ハ先決問題デゴザイマス、ドウゾ早ク御取リニナルヤウニ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ贊成ガアリマスカ

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ贊成ガアリマスカラ、委員付託ニ附イテ採決致シマス、恆松君ノ委員付託ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ議長ガ指名スルコトニ致シマス——議事日程ノ十八、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、星松三郎君

十八 出 印紙稅法中改正法律案(星松三郎君外一名提 第一讀會)

印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 一覽拂爲替手形 印紙稅 一錢

第五條第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 貯蓄預金證券及通帳

(星松三郎君演壇ニ登ル)

○星松三郎君(二百八十一番) 印紙稅法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ單簡ニ述ベマス、是ハ昨年提出致シマシテ本院ハ通過致シテ居リマス、皆サンモ篤ト御承知ノコトデゴザイマセウト思ヒマスカラ、極略シテ申上ゲマスル、印紙稅法中「第四條第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ、一覽拂爲替手形印紙稅一錢第五條第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ、貯蓄預金證券及通帳」此二ツノモノヲ插入致シマスコトニ致シマス、理由書ニモ書イテゴザイマスカラ、極端摘ンデ申シマスガ、此爲換手形一覽拂ト云フモノニ對シテハ、先年送金手形ト云フモノガゴザイマシタガ、印紙稅法改正ニナリマシテカ出カ、是ガゴザイマセヌノデ、今日如何ナルモノガ流行シテ居ルカト申シマスルト、一週間ノ效力ノアル所ノ、即チ小切手ト云フモノガ即チ代用サレツ、アルノデゴザイマス、是ハ甚ダ反則デアッテ宜シクナイコトデハゴザイマスガ、此經濟上ノ算盤ナド、云フモノハ鉄鎗ヲ爭フモノデゴザイマスカラ、此弊甚ダ宜シクナイト云フコトハ、金融ニ與テ——金融機關ノ主動ト爲ッテ居ル所ノ者ハ承知シツ、アツテ、使ヒツ、アルヤウナコトデアル、是等ノコトヲ除キ去ルト云フ

ニハ、如何ニシテモ便宜ナコトヲ取ッテヤラヌケレバナラナイ、ウレニ附イテハ先年ヲ想起シマシテ此一覽拂ト云フ名義ノ下トニ、一錢印紙ヲ以テ印紙ヲ貼ラシタガ、寧ろ稅ヲ取ル上ニ對シテモ唯名義上取ルトシテ取レルモノヨリハ、實際取リ得ラレルモノガ宜シイト考ヘテ、此一覽拂爲替手形ト云フモノヲ置キマスル所以デゴザイマス、次ニハ貯金ノ通帳デゴザイマスガ、此貯金ノ通帳ハ御承知ノ通、貯金ハ誠ニ少額ノモノカラ預リマスルモノデ、詰リ印紙代ヲモ價ヒ能ハヌ位ノ少額ナモノヲ預ル、即チ此貯金ノ方カラ見マスルト云フト、全ク此中以下ノ者ノ大ニ利用シマスルモノデゴザイマスルガ故ニ、是等ノモノニ向ッテハ矢張稅ヲ取ラヌ方ガ——印紙ヲ貼ラヌ方ガ宜シイト云フ考ヨリ、此項ヲ設ケタイト云フ所以デゴザイマス、以上申シマシタ通ノ次第デ昨年殆ド滿場一致御決シニナッタ問題デゴザイマスカラ、當年モ定テ其運ビニナリマセウト思ヒマスケレドモ、免ニ角矢張慎重ニ取調ベマスル方ガ宜シイ存ゼラレマスルカラ、委員ヲ設ケテ審査サセマスルヤウニ致シタイト思ヒマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○恆松隆慶君(百三十六番) 是ハ委員ニ付託シタガ宜シウゴザイマスガ……

○鈴木總兵衛君(二百四十二番) 是ハ委員ニ付託スルガ宜シイト思ヒマス

ガ、前ニ政府ノ案ノ委員ガ出來テ居リマスカラ……

○恆松隆慶君(百三十八番) 政府案ノ委員ガゴザイマスカラ、新ニ設ケルヨリハウレニ付託シタガ……

○議長(片岡健吉君) 政府カラ提出ニナッテ居リマスル印紙稅法中改正法律案ノ委員ニ、之ヲ付託シテ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス——議事日程ノ十九、佐藤昌藏君

十九 (特別報告第一號)四國鐵道第一期線へ線 (委員長報告)

上ケノ請願外三件

○議長(片岡健吉君) 請願委員長ノ報告九、十九ヨリ二十三マデヲ同時ニ致スコトニ致シマシテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス

(佐藤昌藏君演壇ニ登ル)

○佐藤昌藏君(六十五番) 日程十九特別報告ノ前ニ先チマシテ、請願委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、昨年十二月二十六日委員ガ成立致シマシテゴザイマス、ソレデ委員長立ニ理事ノ選舉會ヲ開キマシテゴザイマスガ、根本正君ヨリ投票ヲ用ヒズ、本員ヲ委員長ニ、而シテ委員長ノ指名ヲ以テ、理事三名ヲ定メマシタイト云フ發議ガゴザイマシタ、各員ニ異議ガゴザイマセヌニ依ッテ、本員ガ委員長ノ推薦ヲ受ケ、次デ大瀧傳十郎君、根本正君、武弘宜路君ノ三名ヲ理事ニ指定致シマシテゴザイマス、是レ亦各員異議ガゴザイマセヌデ理事ノ任ニ當ラレマシテ例ニ依リマシテ、請願書ノ調査ヲ分科致シマシテゴザイマス、即チ第一ハ租稅、第二ハ法律、第三ハ雜部ト致シマシテゴザイマス、而

シテ理事ハ即チ此三分科ノ主査ト致シマシテゴザイマス、又例ニ依ッテ委員ヲ此三分科ニ配當致シマシテゴザイマス、爾來此三分科ハ度々開會ヲ致シマシテゴザイマス、ソレヨリ一月一日會議ヲ開キマシテゴザイマスガ、其審查ノ結果ハ院議ニ付スベキト致シマスモノハ十四件、參考トシテ政府ニ送付スベキモノト云フハ五件、院議ニ付スルヲ要セズト決議致シマシタモノハ十六件、ゴザイマシタ、是レ即チ請願委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、是ヨリ第九ヨリ二十三ニ至リマス特別ノ報告ヲ簡單ニ申述ベマス、十九ハ即チ四國鐵道第一期線ニ繰上ノ件ニゴザイマシテ、縱貫線ニゴザイマスル故ニ、經濟ノ點ヨリモ國防ノ點ヨリモ誠ニ必要ナル線路デゴザイマス、然ルニ二期線ニナッテ居リマシテ、其工事ニ何時著手セラハ、ト云フコトモ計リ難イ、故ニ即チ第一期線ニ繰上ラレタイト云フ請願ニゴザイマス、委員會ハ之ヲ可決致シマシタ、即チ特別ニ報達致シマシタ次第デゴザイマス、次ハ第二十、是ハ中央線ヨリ東海道線ニ聯絡致シマスルノ鐵道ヲ、鐵道敷設法中ニ追加セラレタシト云フ請願ニゴザイマシテ、此線路ノコトモ前十九ノ請願ト等シク度度出マシテ、此議場デ既ニ可決トナッテ居リマシタノデゴザイマス、因リマシテ委員會ガ總テ是モ可決ト致シマシテ、特別ニ御報達致シマシタ次第デゴザイマス、二十一ハ商業會議所條例改正シタイト云フ請願デゴザイマス、是ハ其會議所ノ議員ヲ人員ヲ増シタイト云フ趣意ノ請願デゴザイマス、如何ニモ東京ノ如キ大都會ノ商業會議所ニシテハ、十五名ヨリ五十名以下ト云フノデハ不足ノ感シマスルコトモゴザイマス、又他ノ各國ニモ例ガゴザイマス、續テ二十二、是ハ下總國ノ舊牧開墾ノ件デゴザイマス、此事タルヤ元ト窮民ヲ救與ノ御趣意ヲ以テ開墾ヲ獎勵致サレマシタルコトデゴザイマス、其細民救助ノ趣意ニ依ッテ致シマシタル所ハ徹底致シマセヌ依ッテ、最前ノ御趣意ニ立戻ッテ窮民ノ救助ニナルコトニ御取計ヲ請ヒタイト云フコトデゴザイマス、是モ昨年既ニ當院ニ於テ可決ト爲リマシタル事柄デゴザイマス、次ハ二十三、地價修正不當ニ附イテ再修正ノ請願デゴザイマス、是ガ兵庫縣ニ於キマシテ郡ノ管轄換ニナリマシタルタメニ、地價ノ高イ處ト低イ處ノ差ガゴザイマシテ、管轄換ノタメニ大キニ不利ヲ受ケタト云フニ附キマシテ、地價ノ再修正アラシコトヲ請願致シマス、段々申上ゲマス、是モ昨年既ニ當院ヲ通過致シマシタルノデゴザイマス、般此特別報告ヲ致シマシタル中、商業會議所請願ノ外ハ總テ既ニ度々衆議院ニ提出ニナリマシテ、可決致シマシタル分デゴザイマス、之ヲ御贊成下サレマシテ一括ニ可決アラシコトヲ只望シマス

○恆松隆慶君(百三十八番) 唯今請願委員長カラ辯ゼラレマシタル所ノ、十九ヨリ二十三ハ改テ一括トシテ議題ニ掛ケテ、サウシテ請願委員長ノ報告通是ハ如何ニモ一ツニ纏メテ、直チニ可決ニナラシコトヲ望ミマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ動議ノ通、之ヲ一括トシテ議題ニ供スルコトニ附イテハ、御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、請願委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

二十 (特別報告第二號)鐵道敷設法中追加ノ請願外六件 (委員長報告)

二十一 (特別報告第三號)商業會議所條例改正ノ請願 (委員長報告)

二十二 (特別報告第四號)下總國舊牧開墾ニ關スル請願 (委員長報告)

二十三 (特別報告第五號)地價修正不當ニ付再修正ノ請願 (委員長報告)

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ委員長ノ報告通採擇スルコトニ致シマス

(書記朗讀)

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

北陸及北越聯絡線速成ニ關スル建議案

提出者 西田 收三君 稻垣 示君 橋元 勲君

淺野 順平君 大瀧 傳十郎君 佐藤 伊助君

三田村 甚三郎君 降旗 元太郎君 林 彦一君

伊藤 直純君

委員ヲ指名スルコト左ノ如シ

明治二十九年法律第四號中改正法律案

富永 準太郎君 片岡 久一郎君 高津 雅雄君

土居 半左衛門君 深尾 龍三君 初見 八郎君

山田 武君 木村 格之輔君 高梨 哲四郎君

明治三十三年勅令第二百七十七號(承諾ヲ求ムル件)外三件

關 信之介君 齋藤 安雄君 串本 康三君

渡邊 猶人君 津野 常君 西田 收三君

岡本 松太郎君 室 幸次郎君 佐藤 里治君

未成年者飲酒禁止法案

根本 正君 武弘 宜路君 持田 直君

鈴木 忠兵衛君 田中 喜太郎君 東 良三郎君

杉下 太郎右衛門君 鹽路 彦右衛門君 松尾 又雄君

○議長(片岡健吉君) 唯今ノ所デハ議會ヲ開クダケノ議案ガアリマセヌカラ、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲスルコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後三時五十九分散會